

だが診察を終った医師は腹部打診の際、音が変つてゐると頷を傾けて、

「おたし」の事である。

午前十時四十分、熱三七度、脈九八

斯様にして右体は益々、儉悪なる状態にて高熱分動かせない模様である。

以上、六日午前の附添人も報告

更に午後の報には、胸部のハシ益々擴大し、熱も腫れも増加の傾向である。従つて十八日夜に至るも、まだ樂觀を許されざる状態である。

不取敢、吾々は以上の事柄を諸君に報告する。會社が今日迄如何に慘酷な鬼人の如き振舞ひを以て、鉦夫を苦しめて来たか、此の一件に織り込まれてゐる眞想の断片的事實に依つても、明と知る事が出来るであらう。

彼住友傭人等の毒手は、亦住友の意志であり考へである。我等が敢て手するも一言もあるまい。見よ、土井女が打たれた時、死の如き状態にありし時の傭人等の言葉、又被害者をもごく取扱ふ其の態度を。

其上、謙信は、敵國甲斐に塩なきを痛く憂ひ、武田方に塩を送りたるの事情と思ひ合はば、今日の大資本家住友の心中を、其の隠微さは憎みても、

世間餘りあることである。

土井ヤリ女を斯くせしめたる事件、世間下、角野、松尾、岩田等と嚴重取調中、聞かぬは、何れも、行かば計り難き、只吾々は労働者の正しき立場を、餘りも、守らば、組織力により、最後まで戦ふのみ。

然して此、暴行を敢てなしたる會社側の不始末に就ては、館くまで、純潔し、土井女氏の鬱憤を晴らすべきは、亦我等、正しき立場に立つ、争議団の任務である。今社が如何に乘策を以て、事實の判明せざらんため、モカイても七十名餘、黒き瞳みと、敏感なる感見といは、どうする事も出来まい。

我等は、今や詳細なる事實の調査を終了した。只、敬言、家系の処置の正しき進行を待つのみである。

これ、全組合員並に、全鉦夫諸兄よ、正義こそ、最後の勝利であること、堅く信じて、一層の努力を以て罷業を成功を絶められよ。我別子争議は、今や、龍同盟全國の組合員の支持に依り、或は、経済的に、或は、手数關大を以て、極力援助せられつゝある。

更に我々が報告すべき事は、角野村、泉川村、中村村、皆々、有志の篤志、きつ後援のあることである。争議開始以來、既に四十有五日、其間一歩の刻